

はじめまして！ルーシー先生！

11月から日南町の外国語指導助手として着任された、ルーシー先生（ミンティエロ・ルチアナ・ティラミスさん）をご紹介します。ルーシー先生はアメリカのワシントン州シアトル出身。1998年6月3日生まれの23歳です。



Q1 日南町に来たきっかけは？

今年の3月に大学を卒業し、この度日南町にやって来ました。大学では社会学を勉強していました。父方の祖母が日本人であることから、日本で働きたいと思いJETプログラム（外国青年招致事業）に登録し、日南町に派遣されました。

Q2 日南町の印象は？

日南町は広くて山や木がたくさんあり、アメリカのワシントン州に似ているなと感じました。木々に霧がかかった様子がきれいだなと思います。

Q3 日本に来たことはある？

日本には小さい頃家族と一緒に来たことがあります。東京・奈良・京都などにも行きましたが、一番心に残っているのは広島宮島の宮島です。海の中の鳥居がとても印象的でした。お寺などにも興味があり、日本の歴史的な建物はとても美しいと思っています。

Q4 好きなものは？

食べ物ではトーストやパスタなどが好きです。日本料理も好きです。動物では猫も好きで、シアトルでは家で猫を1匹飼っていました。

Q5 これから日南町でやりたいことは？

子ども達とたくさん英語を喋ったり、友達をつくったり、いろんな所に行ったりしたいなと思っています。



林業アカデミー奮闘記 学ぶ事を続ける大事さを大切に！

林業の担い手を育てるために大事なことについて、ここ数年ずっと考え林業現場で活躍する人にも、折に触れ聞いています。現時点では、実践の量（経験）と質（試行錯誤）に加え、良い手本から見習うのが王道だと何人もの人から聞きました。また、名人と言われる人ほど、貪欲に学ぶ姿勢を持ち続けていました。

今年は、町内林業事業者も例年より多く視察し、造林の視察も増やしました。事業者の経営者から学生たちへ、厳しい言葉もありましたが、ありがたい金言もたくさん頂きました。就職すると他の林業事業者の作業現場を見る機会は、格段に減ります。地域特性や保有機械など条件の違う各事業者が、様々な工夫を凝らした独自の施業システムを見聞できることは、林業学校の強みです。卒業が近づいてくる季節になりましたが、安全第一で、より多く経験を積み、考え続けて、良い事業者を見学して将来の日本の林業をけん引する林業人になって欲しいです。

ウッドショックで木材価格が上が

【林業アカデミーHPアドレス】 <https://nichinan-ipc.or.jp/forestry/>

問 にちなん中国山地林業アカデミー TEL 8410070



り、数十年ぶりに林業界は少し明るい年でしたが、海外需要の高まりが要因であり、国産材が「積極的に選ばれた」わけではありません。外材から一時的に奪った国産材のシェアを死守する努力を、山側は継続する時だと思えます。コロナで様々なことが遠隔で学べるようになり、愛媛大・鹿児島大などでは、働きながら林業経営者・就業者向けの授業も受講できる時代です。いつまでも学び続ける姿勢を、学生たちには持つてもらいたいです。

